1893	101	題号不明	千代田葛彦	言語	梟の次の声待ち書を膝に	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	490	￥43	￥1	￥1	冬
1894	101	題号不明	千代田葛彦	言語	火より紅き冬の椿を火に投ず	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	549	￥43	￥1	￥1	冬
1895	101	題号不明	千代田葛彦	言語	茶の花が咲けり土曜に辿りつく	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	554	￥43	￥1	￥1	冬
1913	102	題号不明	増田河郎子	言語	ちろちろと川明りして兎罠	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	355	￥43	￥1	￥1	冬
1914	102	題号不明	増田河郎子	言語	糶られゐる鮫の半眼月の暈	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	509	￥43	￥1	￥1	冬
1915	102	題号不明	増田河郎子	言語	冬の蚊の血の気もあらず膝に寄る	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	538	￥43	￥1	￥1	冬
1916	102	題号不明	増田河郎子	言語	冬梅にゆふぐれはやや間延びしぬ	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	541	￥43	￥1	￥1	冬
1922	103	題号不明	増田斗志	言語	どこからも見えて一人や蓮根掘り	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	346	￥43	￥1	￥1	冬
1923	103	題号不明	増田斗志	言語	一茶忌のほろ苦かりし煮大根	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	458	￥43	￥1	￥1	冬
1937	104	題号不明	蔵巨水	言語	立山の襞引き締めて鰤起し	2008	『俳句歳時記　第四版』	696	￥43	￥1	￥1	冬
1938	104	題号不明	蔵巨水	言語	船窓に鳴戸の渦や火桶抱く	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	318	￥43	￥1	￥1	冬
1939	104	題号不明	蔵巨水	言語	如意渡し船待つ我と十夜僧	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	430	￥43	￥1	￥1	冬
1940	104	題号不明	蔵巨水	言語	それ鷹の雄神有磯を一翔り	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	480	￥43	￥1	￥1	冬
1941	104	題号不明	蔵巨水	言語	群青をぬけ白鳥の白きわむ	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	508	￥43	￥1	￥1	冬
1957	105	題号不明	村上しゆら	言語	沖ただに羽搏つ鵜が見ゆ雪帽子	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	240	￥43	￥1	￥1	冬
1958	105	題号不明	村上しゆら	言語	雪踏に出づや海鳴身をつつむ	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	296	￥43	￥1	￥1	冬
1959	105	題号不明	村上しゆら	言語	楫足すや馬屋に馬の顔うるみ	2008	『俳句歳時記　第四版』	748	￥43	￥1	￥1	冬
1960	105	題号不明	村上しゆら	言語	すが漏りや暁の夢の間父生きて	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	341	￥43	￥1	￥1	冬
1961	105	題号不明	村上しゆら	言語	明日を恃み鮫獲り船の出でゆかず	2008	『俳句歳時記　第四版』	815	￥43	￥1	￥1	冬
1980	106	題号不明	村沢夏風	言語	節分の水ふくるるよ舟溜	2008	『俳句歳時記　第四版』	682	￥43	￥1	￥1	冬
1981	106	題号不明	村沢夏風	言語	塔の影およぶところに竜の玉	2019	『俳句歳時記　第五版』	924	￥43	￥1	￥1	冬
1993	107	題号不明	太田鴻村	言語	灯のもとに霧のたまるや夜泣蕎麦	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	261	￥43	￥1	￥1	冬
1994	107	題号不明	太田鴻村	言語	木の葉舞ふ天上は風迅きかな	2008	『俳句歳時記　第四版』	833	￥43	￥1	￥1	冬
1995	107	題号不明	太田鴻村	言語	海の日に茎さしのべて石蕗咲ける	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	606	￥43	￥1	￥1	冬
2002	108	題号不明	大井戸辿	言語	唐紙をあけては別の寒さあり	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	59	￥43	￥1	￥1	冬
2003	108	題号不明	大井戸辿	言語	寝そべるもをりて四温の百羅漢	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	64	￥43	￥1	￥1	冬
2004	108	題号不明	大井戸辿	言語	時雨聴くごとくに半跏し給へる	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	97	￥43	￥1	￥1	冬
2005	108	題号不明	大井戸辿	言語	しぶしぶと降りだす雪の津軽かな	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	116	￥43	￥1	￥1	冬
2006	108	題号不明	大井戸辿	言語	冲かけて鎌倉日和七五三	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	170	￥43	￥1	￥1	冬